

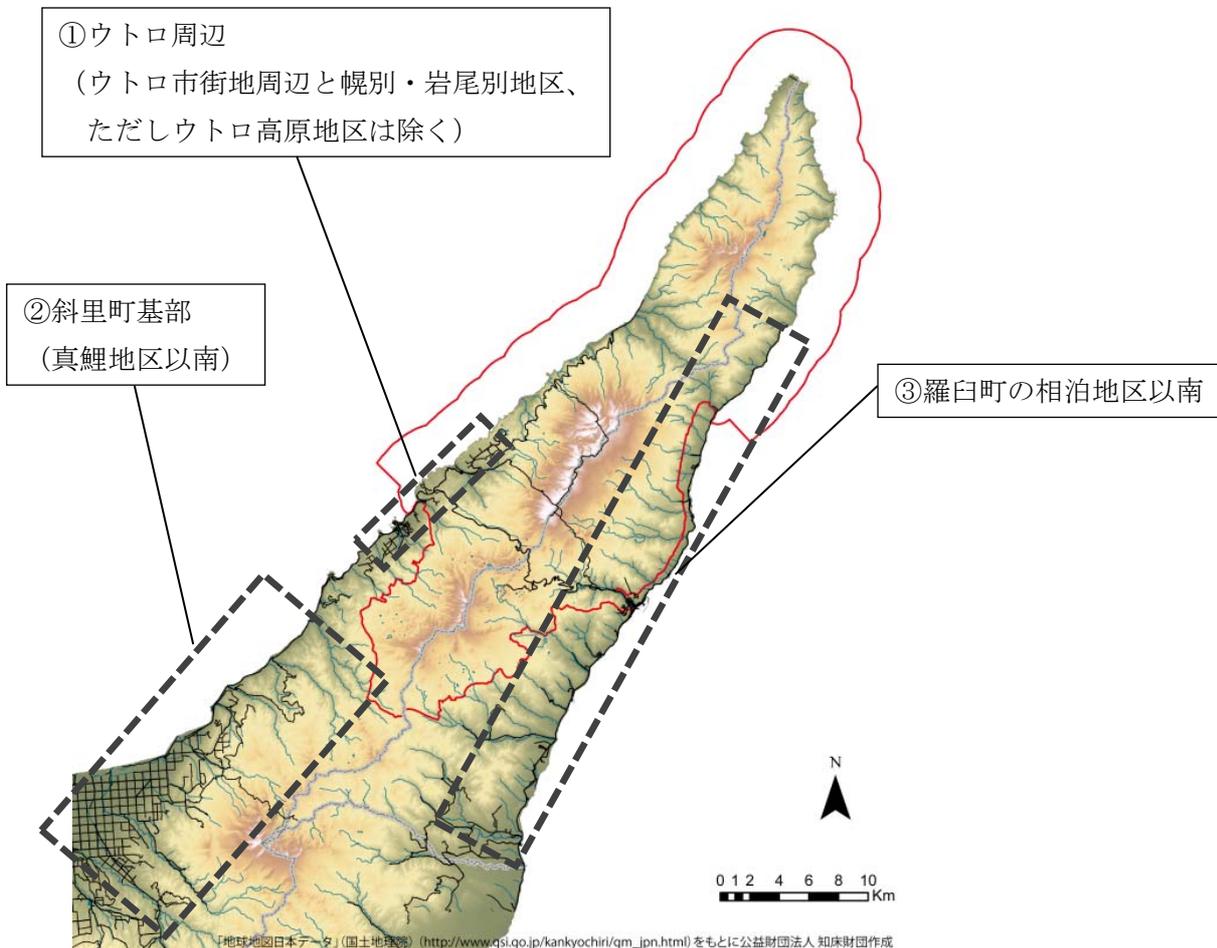
出没情報等に基づく問題個体数の推定について

1. 推定方法

知床半島の3地区を対象に問題個体数の推定を実施した。①については、直接観察とDNAにより個体識別結果等を基に算出した。②③については、道立総合研究機構環境科学研究センターの協力を得て、出没年や出没地点等を考慮し、一定の条件を満たすものを同一個体と見なすことで算出した。

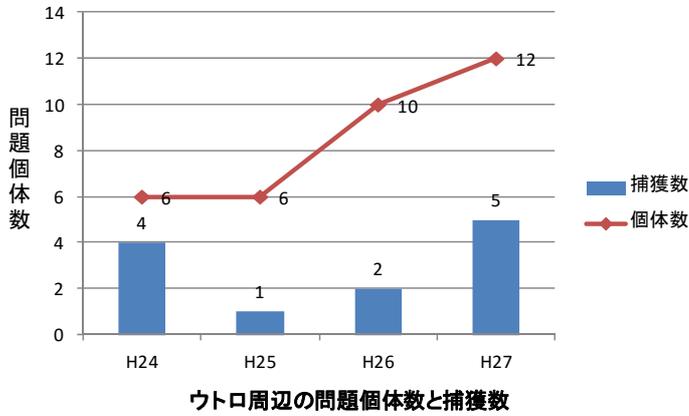
いずれの地区でも、個体数は組数で算出した。単独=1頭=1組、親子=2頭 or 3頭 or 4頭=1組として算出した。

- ①: 利用者が多い幌別～岩尾別地区を含んでおり、行動段階1+の扱いが課題となっている地区。行動段階1+以上を問題個体として個体数を算出。
- ②: 農作物被害が多く発生する地区。農作物に被害を与える行動段階2が問題となるが、春先に農地に出没する行動段階1や真鯉周辺の国道沿いに頻繁に出没する行動段階1も存在する。行動段階1と行動段階2の個体数をそれぞれ算出。
- ③: 民家のゴミや水産加工場の残滓を荒らす行動段階2が問題となるが、住宅地の至近に出没する行動段階1も問題となる。行動段階1と行動段階2の個体数をそれぞれ算出。

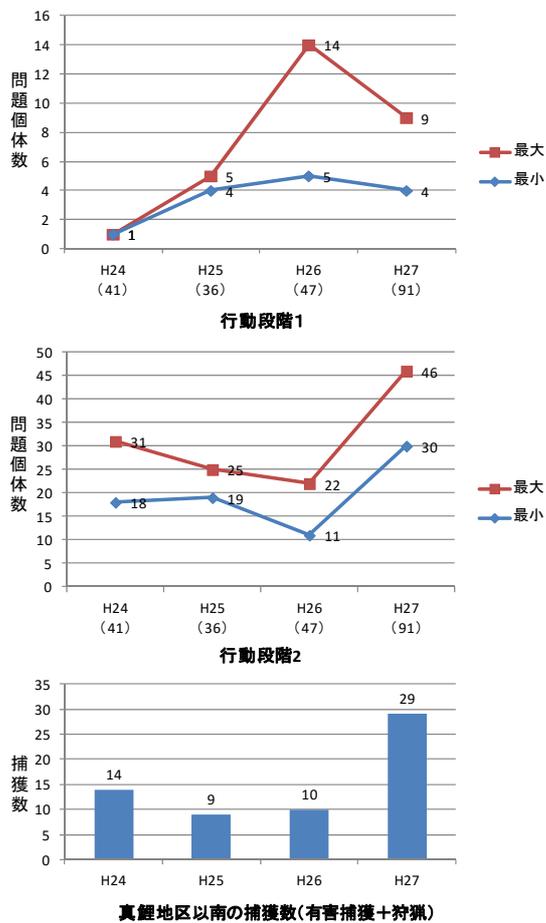


2. 推定結果

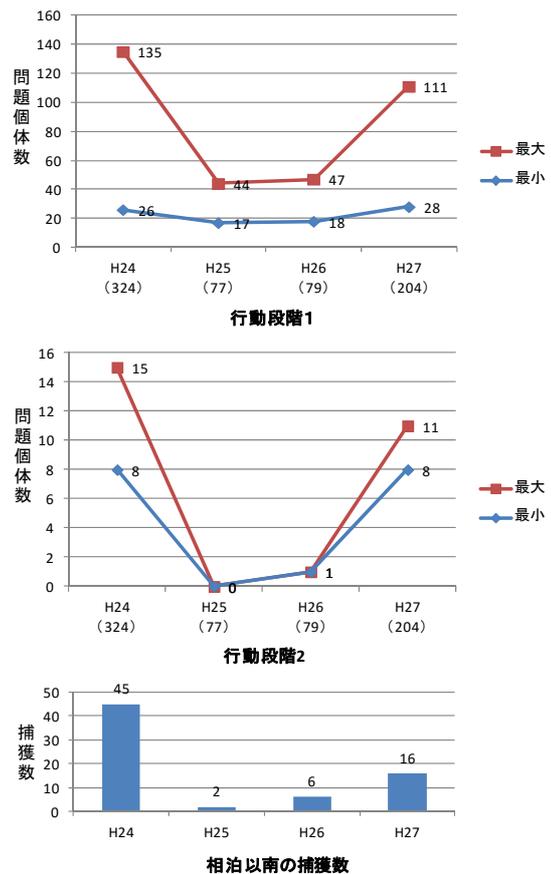
①ウトロ周辺



②斜里町基部（真鯉地区以南）



③羅臼町の相泊地区以南



*真鯉地区以南の捕獲数には狩猟で捕獲された行動段階0も含む

*いずれの地区でも行動段階3はない。